

目次

(19) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(20) 製品関連記事

▽「湯こぼれしにくい構造／ドリテック」

▽「包装小さく携帯性向上／味の素ゼネラルフーズ」

(21) サービス関連記事

▽「高齢者支援へ連携／日本郵政、IBM、アップル」

▽「音声案内、スマホで文字に／ヤマハ、東急バス」

(22) その他、各種関連記事

▽「缶詰型抜き後の廃材 ネットで"サンド" 破れず丈夫に 障害者が製造」

▽「高齢者・障害者配慮事業を認証／UD21 にいがた」

▽「抱っこひも 安全強化 落下防止へ基準改定」

(23) 新刊紹介

▽『障害者総合支援法障害支援区分認定ハンドブック』

▽『特別支援教育に生きる心理アセスメントの基礎知識』

▽『これでわかる大人の発達障害 「生きづらさ」解消のヒントが満載！』

▽『僕らがいちばん安心できる場所 東京多摩学園ものがたり』

▽『発達の気になる子へのケース別生活動作・運動・学習サポート事例集』

▽『インクルーシブ授業をつくる すべての子どもが豊かに学ぶ授業の方法』

(19) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

- ・台湾調査団、来局
 - ・愛知県・犬山中学校の生徒に授業
- 共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

(20) 製品関連記事

▼「湯こぼれしにくい構造／ドリテック」

「電気ケトル 0.8L」の「PO-329」。ロックボタンとふたの構造を工夫し、倒れても湯がこぼれにくくした。注ぎ口を開閉できる給湯ロックボタンを備え、ふたも本体から外れにくい。取っ手のスイッチを押すだけで沸かすことができる。空だき防止センサーも搭載した。

(日経MJ 5月8日12面より抜粋)

▼「包装小さく携帯性向上／味の素ゼネラルフーズ」

味の素ゼネラルフーズ（AGF）はインスタントコーヒーなどを1杯ずつ袋に詰めたスティックコーヒーの袋を小さくする。スティックの全長は2cm短い13cmと、胸ポケットに収まる大きさにし、登山や行楽で使いやすくした。

「<ブレンディ>スティック」の全品、「<マキシム><ちょっと贅沢な珈琲店>スティックコーヒー」3品の包装を小さくする。

従来の袋では「粉が沢山入っているとの印象から中の粉を使いきらず薄味で飲む消費者もいたという。袋を小さくすることで消費者が内容を把握し、一度で使いきってもらいたい狙いもある。

袋の口も順次開けやすいようにする。袋にレーザーで薄い切れ目を入れることで、軽く引っ張るだけで開けられるようにする。従来の袋では切り口が曲がったりすることもあった。外箱も1割以上小さくする。店頭の棚の省スペースにつなげる。

(日経MJ 5月8日14面より抜粋)

(21) サービス関連記事

▼「高齢者支援へ連携／日本郵政、IBM、アップル」

日本郵政は4月30日、米IMB、米アップルと高齢者向け生活支援サービスの実験に取り組むと発表。IBMのアプリが入ったアップルのタブレット「iPad」1千台程度を国内の高齢者に無料で配り、サービスを開発する。

実験は今秋以降に始め、2016年度からの事業化をねらう。対象地域や協力者の選び方はこれから決める。高齢者でも使いやすく設定した端末を通じ、テレビや買い物支援といったサービスを試していくつもりだという。

(朝日新聞 5月1日6面より抜粋)

▼「音声案内、スマホで文字に／ヤマハ、東急バス」

ヤマハは15日から東急バスと連携して、音声案内の内容をスマートフォン(スマホ)の利用者に表示する実証実験を始める。バス内で車内アナウンスを文字情報としてスマホに送るもの。耳が聞こえづらくなった高齢者の利用や、外国語表示によって外国人観光客が活用することなどを想定している。

ヤマハは2010年にデジタル信号を人の耳に聞こえない音波で送る独自技術「インフォサウンド」を開発。同技術を用いて、専用アプリ(応用ソフト)「おもてなしガイド」を取り込んだスマホなどが音声信号を受信すると、声の情報を画面に文字で表示する仕組みをつくった。

音波で伝えるためインターネットや公衆無線LAN「Wi-Fi」に接続する必要がなく、既存のスピーカーを生かしたままサービスの導入ができる。

実験は「代官山循環バス」で行う。車内アナウンスをアプリ利用者の端末に文字で表示する。高齢者には停留所などを案内する車内アナウンスが聞き取れない人もいるため、文字で確実に情報を伝える。

また、日本語と英語のほか、5カ国語を表示できるようにした。

(日経MJ 5月15日7面より抜粋)

(22) その他、各種関連記事

▼「缶詰型抜き後の廃材 ネットで"サンド" 破れず丈夫に 障害者が製造」

愛知産業大学イノベーション研究会は、ハクビシンなど小動物向けの侵入防止柵「畑まもる君」を開発し、実証実験に入った。

同研究会は、学生や地元企業の社員ら約 30 の個人や団体に構成。新商品の開発や事業立ち上げによる地域貢献を目指し、14 年 7 月に発足した。

きっかけは研究会メンバーで缶詰用の缶を製造する社会福祉法人名古屋ライトハウスが、「缶を繰り抜いた廃材は現状では産業廃棄物。何かに生かせないか」と相談を持ちかけたこと。

メンバーで話し合いを重ね、鉄板を丸く繰り抜いた残りの廃材を 2 枚の園芸用ネットの間に挟んで針金で固定した。強みは廃材を間に挟んだことで強度が増す。重みが付き風にあおられない。ネットは 1 枚ずつになっているので壊れたときに交換がしやすい点。

今後は研究会のメンバーで障害者の仕事づくりをしている同市の特定非営利活動法人共生社会推進協議会が中心となり、8 月の販売開始をめざして、ネットのサイズや改良を進めている。同法人に所属する障害者 20 人が製造や設置、修理まで担う予定だ。

(日本農業新聞 5 月 1 日 13 面より抜粋)

▼「高齢者・障害者配慮事業を認証／UD21 にいがた」

NPO 法人 UD21 にいがた（燕市）は高齢者や障害者に配慮したユニバーサルデザイン（UD）の製品・サービスの認証制度を創設した。新潟県内の企業が主な認証対象で、福祉施設などでの県産品・サービスの利用促進につなげる。

同 NPO 法人の認証制度では使い勝手や安全性のほか、新潟の風土の継承に繋がる「持続可能性」や「日本らしさ」などを独自の条件として掲げている。

(日経MJ 5 月 8 日 9 面より抜粋)

▼「抱っこひも 安全強化 落下防止へ基準改定」

赤ちゃんが抱っこひもから落ちる事故を防ごうと、安全性を保証する SG マークを手掛ける一般財団法人「製品安全協会」が今春、抱っこひもの安全基準を改定した。新基準の適合商品が今夏にも店頭に並ぶ。国内外のメーカーも業界団体を新設し、安全な製品の利用を呼びかけている。

都によると、抱っこひもの SG 基準が改定された 2009 年以降、都の把握分だけで 117 件の落下事故が起きていた。都は昨年、有識者やメーカーなどと安全対策協議会を設立。製品の改善点の協議を重ね、基準の見直しを提言した。

これを受け今春、6年ぶりに基準を改定。首が据わらない赤ちゃん用に頭を保護するヘッドレストを付ける。肩ひもが緩んでも落ちないように、赤ちゃんの脚や腕を通す空間をつくる。抱っこひもの内側にベルトをつけて固定する、などの条件を基準に加えた。

出荷前の動作テスト強化もメーカーに求めた。緩くつけた状態で前かがみになって片手を下げる動作を繰り返しても転落しない。製品に砂袋をぶつける衝撃試験の際にベルトの緩みが3cm以下に収まる、といったテスト項目を基準に加えた。

(朝日新聞 5月11日3面より抜粋)

(23) 新刊紹介

▼『障害者総合支援法障害支援区分認定ハンドブック』

障害者総合支援法における障害支援区分認定について解説するほか、障害支援区分に係る認定調査を行う認定調査員のためのマニュアル、障害支援区分認定で必要となる医師意見書記載の手引きなどを収録する。

監修：障害者福祉研究会

発行：中央法規出版

本体価格：3200円(税別)

ISBN：978-4-8058-5080-0

▼『特別支援教育に生きる心理アセスメントの基礎知識』

心理アセスメントにかかわる理論的な側面について解説するほか、特別支援教育や就学相談の現場で用いられる代表的なアセスメントツール27点それぞれの特徴や実施方法、活用の仕方などを紹介する。

編著：滝吉美知香(たきよし・みちか) 名古屋恒彦(なごや・つねひこ)

発行：東洋館出版社

本体価格：1400円(税別)

ISBN：978-4-491-03113-2

▼『これでわかる大人の発達障害 「生きづらさ」解消のヒントが満載！』

大人になってから気づくことも多い発達障害。その正しい知識を学べるよう、症例、診断方法、治療とケアから、社会生活の対処法、周囲のサポートまで、イラストや図を用いてわかりやすく解説する。

監修：林寧哲（はやし・やすあき）

発行：成美堂出版

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-415-30867-8

▼『僕らがいちばん安心できる場所 東京多摩学園ものがたり』

東京・奥多摩のひとつの学園で、思い思いの夢を抱き、瞳を輝かせながら共同生活を送っている知的障害者たち。彼らの学園生活でのエピソード、利用者家族やスタッフの思いなどを紹介する。

著：山下更正（やました・こうせい）

監修：ふるさと福祉会

発行：MOKU 出版

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-908204-00-5

▼『発達の気になる子へのケース別生活動作・運動・学習サポート事例集』

発達の遅れが気になる子どもの場合、基本的な生活動作や運動動作、学習動作においてもつまずきが見られます。こうした子どもたちが動作を習得していくために必要な支援のポイントを、イラストを交えて紹介します。

著：酒井幸子（さかい・さちこ）中野圭子（なかの・けいこ）

発行：ナツメ社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-8163-5818-0

▼『インクルーシブ授業をつくる すべての子どもが豊かに学ぶ授業の方法』

多様な背景を持って教室に出席している子どもの声を聞きながら、子どもたちがつながるカリキュラム開発・教材づくり・授業展開・学級づくりの枠組みと方法をわかりやすく解説する。

編：インクルーシブ授業研究会

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2400 円（税別）

ISBN：978-4-623-07205-7

（編集後記）

この時期になると、弊機構に愛知県犬山市の中学校から首都圏総合学習を目的に生徒が訪問してくれます。もう 10 年以上前からこの活動は続いています。毎年変わらず熱心に話を聞き、後日の校内学習に役立てる姿は、とてもうれしいものがあります。子ども達向けの成果は、すぐに表れたり簡単に知ることができたりするものは多くないですが、それだけにやりがいがあり、未来がある事業だと思っています。この事業が継続できるのも、日々ご支援下さる法人会員、個人会員の皆様、一つ一つの活動にご協力下さる皆様のお陰と感謝しております。引き続きよろしく願いいたします。

（森川 美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>